

2023年9月14日(木) 19:00~20:30

松川町農村観光交流センターみらい

## 令和5年度第3回 松川町農業振興会議 議事録

### 1. 開会・進行

松下会長

### 2. 協議事項

(1) 農業法人の設立について パブリックコメント実施 (回答内容について)

質問・意見

農業農村支援センター 木下係長

遊休農地の現状 200ha を、5~6年後に 150ha 減らして 50ha にするというのは非常にハードルが高いと思うが法人のみでここまで減らせるのか、根拠は。

事務局 今回、みどりの食料システム戦略の関係でフレールモアを導入したが、これにより使える農地にしていくことを考えている。

松下会長 モアの現在の稼働状況は。

事務局 7月の下旬に機械導入された。導入にあたってはみどりの食料システムの事業のため、現状ゆうき給食とどけ隊の皆さんの土づくり、特にソルゴの粉碎の仕事を請け負っている。昨日(9/13) 現在までざっと1町7反ほど作業をしている。来週以降も依頼を受けているため、順次面積が伸びていくものと思っている。

長野県法人協会 中平理事

機械は有機に縛りがあるのか。

事務局 そうですね。

長野県法人協会 中平理事

すぐでなくてもよいが、今町でやっている果樹研修制度の研修生の人達には、資金がない中、機械の借り先がない人もいるので、レンタル等おいおい考えていただきたい。彼らも素人であり、いきなり有機で果樹をやれというのもハードルが高いので、それらも含めたうえで考えてもらいたい。高い機械を一部の使用だけでやるというのも、埃を被っている期間も長くなり、機械がもったいない面もあると思うので、せっかく買った機械は有効的に使ってもらいたい。借り手が多すぎて足りなくなり、機械購入をもう1台考えなくてはいけないくらいにしないと、遊休農地の面積も広いので、ひと月に数回の稼働より、予約でいっぱいになるくらいを狙っていた方がいいと思う。

事務局 果樹に関しても、草生栽培や減農薬で取り組むということも多いと思うので、そういったところで利用できればと考えている。使用の際はオペレーターがいて、法人の方から伺うようにしたいので、機械を貸し出すというのは考えていない。どのよ

うに使っていただけるかは今後詰めていきたい。

農業農村支援センター 木下係長

ゾーニングの考え方（樹園地継承が行われるようゾーニングを想定。樹園地継承が難しい圃場は有機農業のための圃場に位置付けたい）だが、樹園地の隣が有機圃場になると、どちらも非常に栽培が難しいという状況になるので、その辺は考慮して有機のゾーニングと果樹園地というのを配慮してもらいたい。

事務局 ゾーニングしていくときに、法人がゾーニングしていくというより、地域の皆さんで話し合いながらになっていく。現在地域計画で話し合いを進めているが、そういったところで作っていければと思っている。

松下会長 本日 16 時からのゆうきの里を育てよう連絡協議会に参加した際、参加者から“こういう事業は町全体で取り組んで、そのことを周知することが大事ではないか”という意見が合った。議会の方へも提案があったと思うが、法人立ち上げについて町として、議会としての意見は。

松川町議会総務産業建設委員会 大蔵委員長

議会としては、前々から早く法人を立ち上げようという意見で動いている。

## (2) 農業法人の設立について

- ・一般社団法人定款（案）について
- ・業務推進計画（案）について
- ・5 か年計画（案）について
- ・組織体制（案）について
- ・会計予算（案）について
- ・法人の名称（案）について

質問・意見

松下会長 説明だと 10 月 17 日に立ち上げができればいいという話だったが、今日 9 月 14 日であと一か月だと、ある程度方向性を出していかないと進んでいかない。今日が 1 番大事な会議だと思う。

農村女性ネットワーク 寺沢会長

高齢化に加え、跡取りがやっついていかない農家にとってはこういったのは大変心強い。作れなくなったらどうしようという切実な目の前の問題があったとき、少しでもこういったものがスタートできていると、いいことだと思う。

JA みなみ信州農業協同組合松川支所 古瀬支所長

作業受託の人の確保の見通しについて、剪定作業を出来る人がなかなか見つかりにくいというのが JA の中でも実態としてある。予算書の収入の中の計画に中で、5 名グループと書かれてはいるが実際に当てがあつての計画なのか、その辺の見通し、実際のところはどうか。

事務局 新規就農者の方で、実際に頼まれて受けている方がいる。その皆さんと、果樹研修生を卒業する皆さんとでグループになってもらってやってもらうのが 1 番かなと

考えている。一般に声をかけても難しい状態だと思っており、ちゃんと声をかけたこともないというのもあるので、その辺にも声をかけていければと思っている。そのため特定の人というわけではなく、5人グループでやり、1日10a出来るところかなと思っている。

JA みなみ信州農業協同組合松川支所 古瀬支所長

今の農業の現状からみると法人の収入の部のところが、見通しはどうかと不安はある。

農業農村支援センター 木下係長

受託作業について、「有機への転換期間2年間は無料」ということだが、今やっている方はどうか。

事務局 転換期間無料としているが、今導入したばかりなので今やっている方もこれから2年間無料。

松下会長 たい肥散布機の現状はどうか。

JA 松川支所営農課 坂巻課長

散布を希望する農家がある。たまたま今回こういった話が出てきたので、法人でたい肥散布機をもってできないかと提案をさせてもらった。

松下会長 くだもの観光協会は、早くから組織的にまとまってやっているわけだが、いかがか。

くだもの観光協会 代田副会長

散布機は持っていたことがあるが、どんな機械なのか。

事務局 補助金申請しているところのため、まだ購入は決まっていないが、事業について先に説明させてもらう。

### 3. 報告事項

(2) 化学肥料低減定着対策によるたい肥散布機の導入について

質問・意見

松川町議会総務産業建設委員会 大蔵委員長

堆肥を1カ所に置いて、そこで積み込み、トラクターで各圃場まで持っていくということか。ホッパーに入れるのか。

事務局 今考えているのは、JA等で購入される堆肥と思っているが、条件がいくつかあり国内で製造された堆肥に限られている。堆肥は圃場に運んでもらっておくというのを想定している。

JA 松川支所営農課 坂巻課長

かきこみ式のたい肥散布機。散布機自体がすくって撒くタイプ。

農業法人全体への質問・意見

ゆうき給食とどけ隊 久保田会長

これは農地を次のやり手に繋ぐためだが、新規参入や規模拡大を考えている人たち

は、相談をする窓口としたら営農支援や農地の関係だと思うが、農地の管理状況など情報の共有がうまくできるのか。一体の方が相談しやすいと思うが。

事務局 法人単体というよりは、みらいの中に法人があると思ってもらえばいいと思う。今までの相談と合わせて活動をしていくということで考えている。

認定農業者連絡会 松尾会長

就農希望している研修生が 2 年後に、法人が管理している土地以外のところを借りたくなった場合は法人が事前に借りて管理するようなことになるのか。

事務局 そうですね。むやみやたらにはないが、法人でもってここにどうぞというよりは、研修生が“2 年後ここでやりたいです”というところを管理していくというのが 1 番大きいかと思う。実際 1 年目の研修生で、あと 2 年研修はあるがこの圃場をと希望がでてきているので、その管理はしていく予定。

農業農村支援センター 木下係長

当初モデル的に大沢（上片桐）の方で法人が活動するという話があったが、今までの話を聞いていると町全体でやるという方向に変わったのか。

事務局 研修生がここでやりたいというのはそれでいいが、大沢地区（上片桐）はこれから地域の皆さんと一緒にゾーニングも含めてやっていく予定。そこに法人が入っていくという感じなので、変わらず大沢でやっていく予定。

農業農村支援センター 木下係長

主体は大沢でやっていくのはいいが、町全体にしないと遊休農地が減らせないので。

事務局 緑肥管理、草刈りするところが受託できれば、解消できるかなというところもあるが、事業について先に説明させてもらう。

### (3) 最適土地利用総合対策事業による地域協議会での取り組みについて

質問・意見

事務局 ゾーニングしていくとなると、町だけで決めることはできないので、地域の皆さんと話をしながら進めていく。こういった補助金や、別枠のものにはなってくるがそういったものも活用しながら考えていきたいと思う。

農業法人全体への質問・意見

松下会長 町内に周知はどのように考えているか。

事務局 パブリックコメントをやらせてもらったことが町内への周知と考えている。実際に立ち上がらないと町民の人たちは分からないところもあると思う。

松下会長 そういうことであれば、早い時期で町の広報で特集を組むとか何か考えていかないと、知らないところで知らないうちにできたという形になってしまうと、まずいと思う。

名前はこの場で決めていいか。

事務局 ずっと皆さんで話し合ってきていただいているのでここで決めてもらえば。

法人の名前について	・グリーンみらい	13名
	・農地繋承推進機構	1名
	・グリーンフューチャーまつかわ	1名
	☆“まつかわ”を入れる	
第一候補	<u>一般社団法人 グリーンみらい・まつかわ</u>	

### 3. 報告事項

(1) 有機農業産地推進事業の進捗事業について

質問・意見

松下会長 10月10日の視察は通知が出るのか。また日帰りか。

事務局 改めて参加募集をかける。日帰り、朝6時出発で帰りは19時松川着。

### 4. 基本計画について（ワークショップ）

松川町農業基本計画のワークショップは時間切れのため次回へ持ち越し

※令和6年度の事業要望について

質問・意見

松下会長 補助金等について期間があるのであれば、メニューをまた事務局の方から出してもらえれば。

事務局 はい。

長野県法人協会 中平理事

マニアスプレッターやトラクターといろいろな機械を購入して、今後上片桐だけでなく、松川全体の遊休農地の管理をしていく中で、機械を運ぶ、JAが使っているキャリアカーみたいなものがあったほうが良いと思う。農業安全運動の講演を聞いてきたが、機械の積み下ろし時などの転落事故が1番危ないという話も聞いている。トラクターやマニアスプレッターの自走式で園地まで行くというのもいろいろ問題があると思う。環境整備ではないが、機械を運ぶためのキャリアカーをぜひ買ってもらって、ぜひ私も借りたい。

事務局 リースでなんとかならないかと考えている。

長野県法人協会 中平理事

うちに三輪の自走式のマニアスプレッターがあるが全然使っていない。機械もいろいろ買う前に、試しにやってみて、調子が良いかどうか、自分たちの作業計画に本当に合うかどうかを、農家から、実際に使っているのを借りてみるのもいい。多少料金が発生するかもしれないが、使ってみていいなと思えば今後の計画に役立つと思う。予算立てて買った割には使わなかった、買ったけどこのサイズでは合わなかったなどある前に、ブロードキャスターもマニアスプレッターも毎日使うものではないので、試しに使ってよければ買えばいいと思う。買い方も大事。